

～去年と今年の自分とを比較して、もしも今年が劣っているとしたら、それぞれ恥すべきことである～
【松下 幸之助】

災い転じて福となす

毎年、京都清水寺にて日本漢字能力検定協会が行っている『今年の漢字』が今年も行われた。これは、1年を振り返ってその年をイメージする漢字一字を全国から募り、その中で一番投票の多い漢字を清水寺の貫主（住職）である森清範氏が大きい和紙に描くイベントだ。

今年は『災』に決定した。決定したとき、なんて後ろ向きな漢字なのだ、と思った。振り返ってみると、今年は2月に北陸の豪雨、6月には大阪北部地震、7月に西日本豪雨、9月に北海道地震や台風21号が発生し、日本中が災難に見舞われた。

台風21号に関しては西成高校も大きな被害を受けた。グラウンドにある防球ネットと体育館の窓枠が倒壊した。また、各交通機関に影響が出たことで登校できない生徒が多く、授業ができない日が続いた。

私は、台風が過ぎた次の日、電車が動かないということで、自転車で乗って学校に向かった。初めて自転車で通勤した。大量の汗をかきながら50分ほど漕いだが、目に映る街の被害はなかなかのものだった。しかし、近隣の住人同士で助け合いながら補修をする光景をたくさん見た。とても暖かい気持ちになり、学校に着いたのを思い出す。

今年は、西成高校43期からも様々なところで助け合う姿をたくさん見ることができた。学校全体を引っ張りながら互いに白熱した体育祭、朝と放課後にクラスで練習に明け暮れ、感動の渦に巻き込んだ文化祭、友人同士で良いところや悪いところを言い合った進路に向けた面接練習などなど・・・。体育祭や文化祭は災いではないが、壁に向かって協力し直前に頑張る姿はとても素敵だった。

来年、最後に立ちのびるのは学年末考査だ。また、これから就職試験や大学試験が控えている生徒もいる。冬休みにしっかりとやるべきことはやろう。友人同士で足を引っ張ることのないように。そして、諸君が気持ち良く卒業できるよう祈っている。では、良いお年を・・・

式歌

西成高校の卒業式にて、卒業生が式歌を歌うことはここ何年なかったが、43期では歌うこととなった。曲はいくつか候補が挙がったが、嵐の『ふるさと』が式歌委員によって決定された。理由は、西成高校で学んだこと、新しく出会った友人たち、お世話になった先生方をふるさとと思って欲しいという思いだ。

さっそく、各クラスの式歌委員が全体に発表するやいなや、4組を筆頭に朝から歌の練習が始まった。これも、体育祭や文化祭を一生懸命に取り組んだ現われだと思う。最後に素敵な桜が咲かせられるよう、クラスで一致団結してほしい。

冬休みの課題

HRで冬休みの課題や欠点者課題が配られたと思うが、提出期限までにしっかり仕上げるように。卒業にかかるからやるという問題ではなく、何のために課題が出されているのか理解し、しっかり取り組みなさい。3年生の最後に提出物が出せないという恥ずかしいことはしないように。提出することは当然だが、期日をしっかり守り、完璧に仕上げる。きちんと取り組み、正確さを高めよう！

1月行事予定

- 7日(月) 始業式 + 水12
- 8日(火) 火1～6
- 9日(水)
- 10日(木) 月1～6
- 11日(金)
-
- 14日(月) 成人の日(休校日)
- 15日(火)
- 16日(水)
- 17日(木) 西成クリーン Day
- 18日(金)
- 19日(土) PTAゼミナール



- 21日(月)
- 22日(火) 火1～4
- 23日(水) 学年末考査
- 24日(木)
- 25日(金)
-
- 28日(月)
- 29日(火)
- 30日(水) 学力診断テスト
+ 3年特別補講
- 31日(木) 答案返却日
+ 3年特別補講
3年授業終了



網掛け以外6時間授業